

皮膚にお使いいただくお薬について

- お使いになるお薬の一般的な副作用として以下のような症状があります：
にきびのような発疹、皮膚の乾燥・かゆみ・ひび割れ、爪の周りの炎症、口内炎
- 処方されたお薬を使用しても症状がよくなる場合は、担当の医師や看護師、薬剤師などの医療スタッフにご相談ください。

●顔

お薬の名前
〔 〕
1 日 回

●頭・後頭部

お薬の名前
〔 〕
※髪の毛ではなく、地肌に塗ってください
1 日 回

●全身

お薬の名前
〔 〕
1 日 回

●手足の指先

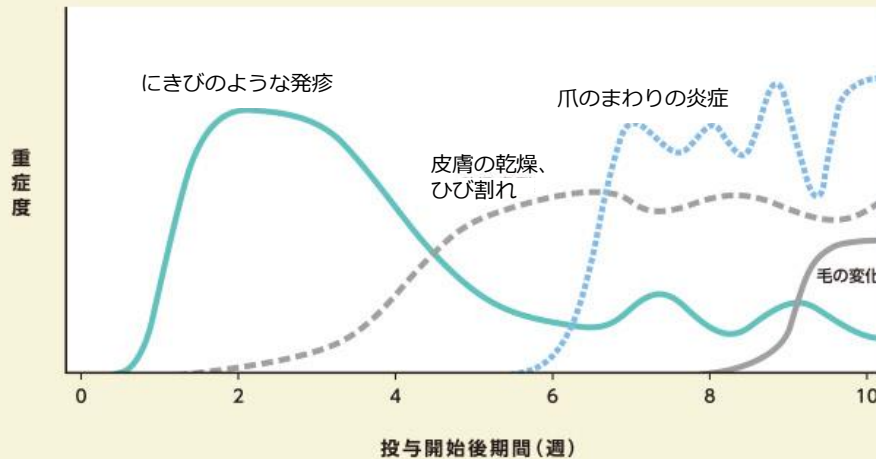
お薬の名前
〔 〕
1 日 回

●その他

お薬の名前
〔 〕
1 日 回



皮膚の症状別 起こりやすい時期



皮膚の症状の例

にきびのような発疹



爪の周りの炎症



日常生活におけるスキンケアのポイント

①保清 (清潔)

肌を清潔に保つようにしましょう。
顔や体は、洗浄料を十分泡立てて、
水かぬるま湯で洗うようにしましょう。
洗浄料は、弱酸性・低刺激・保湿タイプ
のものを使用するとよいでしょう。

②保護

皮膚をしめつけるようなきつい下着、服、
靴などは避けるようにしましょう。
外出時は、衣服や帽子、日焼け止め剤
などを使用し、紫外線対策をしましょう。

③保湿

保湿剤をこまめに塗りましょう。
特に入浴後は、なるべく早めに保湿剤を
塗るようにしましょう。
保湿剤は軟膏・クリームタイプ、液体・
ローションタイプなどさまざまな種類の
ものがあります。使用感のよいものなど
医療スタッフに相談してみましょう。

★自己判断でお薬を塗ったり、
やめたりすることは避けましょう。
かえって症状が悪化してしまうことが
あります。